

にほんご発音ラボ

和語の助数詞 (1)

和語の助数詞で名詞を数えるとき、①～③をよく使います^{注1}。

- ① 「つ」：1つ～10つ
- ② 「人」：1人、2人 (3人からは漢語の助数詞、*4人の「よ」は和語)
- ③ 「日」：1日～10日、20日、14日・24日 (*「じゅう」「にじゅう」は漢語)

数え方①「～つ」

★ “丸い形” を数えます (例：みかんを2つ (=2個) 食べた)。10までしかありませんが、大きいものや広いもの (例：7つの海、1つの宇宙)、抽象的なもの (例：3つの願い)、小さい子どもの年齢も数えることができます (例：「いくつ (=何歳) ?」「4つ (=4歳)」)。



♪空からのおくりもの♪

きれい！ 星は空からのおくりものです。いくつ見えますか。数えましょう。

1 2 1 [c] ㊶ とつ	2 2 1 [b'] ㊷ たつ	3 2 1 [b'] みつつ	4 2 1 [b'] よつつ	5 2 1 [c] いつつ
6 2 1 [b'] むつつ	7 2 1 [c] ななつ	8 2 1 [b'] やつつ	9 2 2 [c] ⁻³ ここのつ	10 2 [a] とお

ことばと表現

▶～からのおくりもの：～からもらったプレゼント (例：母からのおくりもの)。

★ 「2つ～4つ」「6つ」「8つ」は2 1 [b']型です (例：㊷たつ)。

☞しかし、「～ください」や「～あります」などの文では「つ」の後で下がりません (例：㊷たつください、みつつありま]す) ^{注2}。

(1) 「～クラス」「～パック」「～缶 (=can)」など英語の助数詞にも和語の数詞を使うことがあります。しかし、多くの場合、小さい数だけで、すぐに漢語の数詞に変わります (例：ひとクラス、ふたクラス、さんクラス…)。

(2) [a]型の「とお」でも、「とおください」「とおありま]す」になります。

にほんご発音ラボ



「ひとつ」と「ふたつ」は違いをはっきりと発音しよう

♪アクセント型は異なりますが、音はよく似ていますね。「㊦とつ」の「ひ」の母音 [i]、「㊧たつ」の「ふ」の母音 [u] は、どちらもほとんど聞こえません（母音の無声化）。最初に「㊦〜」「㊧〜」と息だけ出してから、「㊦〜、㊦とつ」「㊧〜、㊧たつ」と練習しましょう。



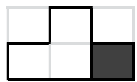
促音「っ」は“長さ”と“詰まる感じ”が大切！

♪「3つ」と「6つ」、「4つ」と「8つ」も母音の違いをはっきりと発音しましょう。
 ♪促音「っ」には音がありませんが、長さは1モーラあります。典型モデルの21型「あ㊨・た」に続けて、連続リピート法で練習してください（例：あ㊨・た×3回→みっ・つ×3回）。
 ♪“詰まる感じ”も大切です。「っ」のとき、できるだけはやく次の音「つ」の発音の準備をして、息を止めます（例：「みっつ」は「み」を発音した後、すぐに舌を上歯の裏につけます）。



確かめましょう

2つの文の“下がり目”はどこですか。「ㄱ」をつけて発音しましょう。



① ㊦とつ ください。 ↔ ② ㊧たつ ください。

数え方②「～人」

★“人”は「㊦とり：21【c】」「㊧たり：21【b】」と数えます注³。

☞3からは漢語の助数詞で「～人」と数えます（数詞は【基本形】注⁴ではなく、4「よ」・7「しち」・9「く」を使います）。



ひとり ふたり 3人 よ 4人 5人 6人 しち 7人 8人 く 9人 10人

確かめましょうの答え：①ひとㄱつください（「くださㄱい」でさらに下がって低くなります）。②ふたつください。

(3) “参加者や出席者” “店の客”などは「～名（めい）」と漢語の助数詞で数えることがあります。

(4) 【基本形】とは「イチ、ニ、サン、よん、ゴ、ロク、なな、ハチ、キュウ、ジュウ」です（ひらがな表記は和語）。